

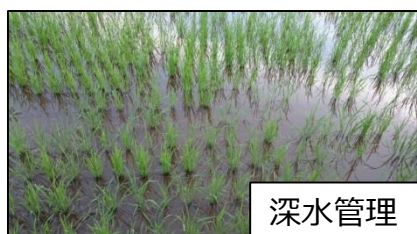
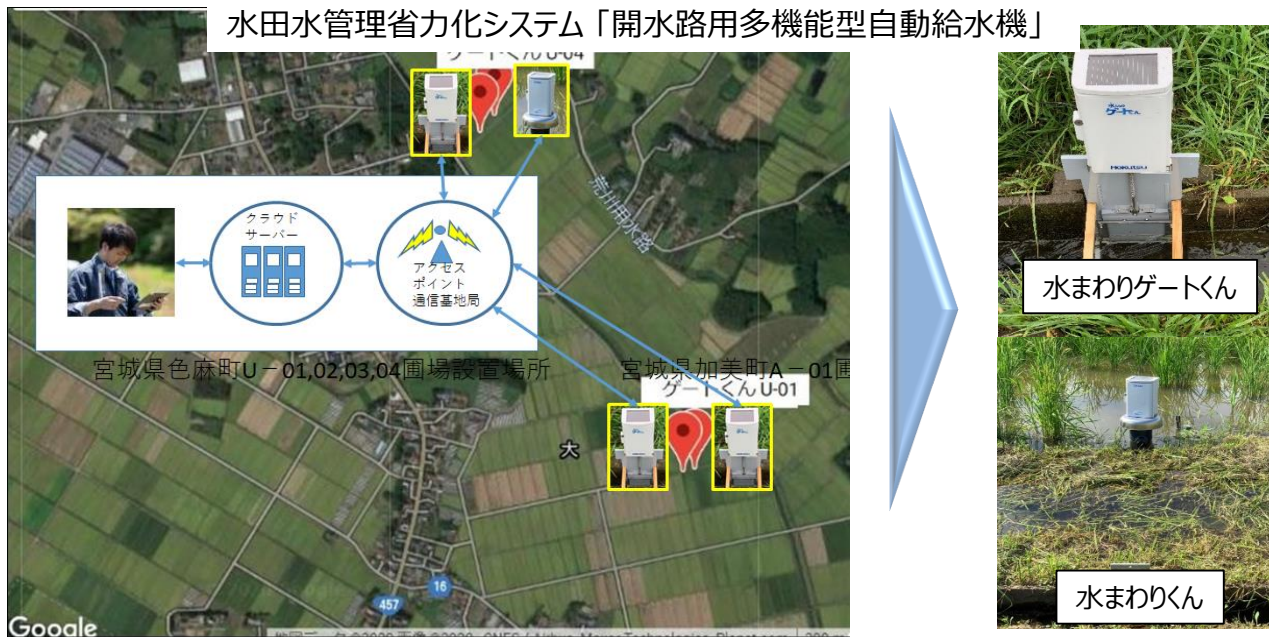
**【有機農産物供給安定供給体制事業のうち生産技術課題対応実証事業】
-有機水稻稲作栽培（早期湛水深水管理法）
水管理労力削減の実証」のご紹介-**

＜生産技術課題対応実証事業の目的＞

水稻有機栽培において雑草抑制対策技術、深水管理で作業時間の負担が重い。この水管理の効率化・省力化を実現。

＜実証技術の特徴＞

ICT水田センサー及び遠隔操作可能な給水ゲート機器を組み合わせ活用することにより、水管理作業時間の削減する。



■ 実証結果

水管理作業時間の省力化

⇒83~87%削減

- ✓ ICTスマート農業水位管理を活用することによってきめ細かな深水管理が実現、雑草抑制も可能。

■ 設置作業

1. 実証圃場：宮城県色麻町、加美町生産者圃場での状況。既存用水路に対応した施工により設置



コンクリート
U字溝用
水路

図-1 段差のある地形を利用してエアダスバルブ（水まわりくん）を設置



土溝用
水路

図-2 土溝の水口のため、土を掘り返し、給水ゲート（水まわりゲートくん）を設置。

■ 水管理作業時間削減

1. 水まわり作業の内訳：水管理、圃場移動時間、生育状況確認となる。（図-3）
2. ICT水田センサー及び遠隔操作可能な給水ゲート機器により40分が5分に短縮（図-4）

※実証圃場：宮城県色麻町生産者圃場

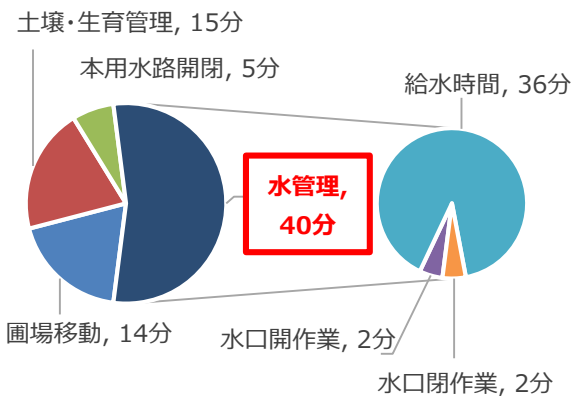


図-3 水まわり作業分析

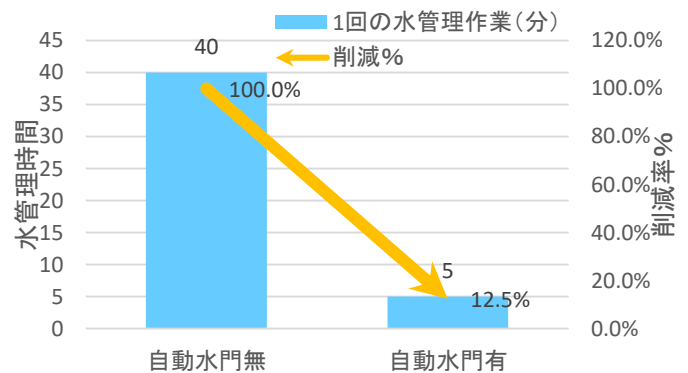


図-4 水まわり作業分析削減

- 対象作物：普及対象：水稻うるち米
- 対象農家：有機栽培米の生産を行う経営体
- 必要な道具：遠隔操作可能な給水ゲート機器
- ICT機器：遠隔で水田の水位が確認できるセンサー

■ 問合せ先
NTTドコモ 東北復興新生支援室
rainbow-ml@nttdocomo.com